

事業報告書

令和元年5月22日

学校法人 杉野学園

目次

I 学校法人の概要

1	主要な運営指標等の推移	1
2	建学の精神と使命	3
3	沿革	4
4	学校法人杉野学園 組織・附属機関等	5
5	学部・課程、学科・科別収容定員・入学定員・入学者数等及び学位授与数	8
6	入試に関する状況	11
7	就職・進学等の状況	12
8	検定試験に関する状況	13
9	教員数等	15
10	役員の状況	16

II 平成30年度事業概要

III 財務の概要

(1)	資金収支計算書	22
(2)	事業活動収支計算書	25
(3)	貸借対照表	27

I. 学校法人の概要

本学校法人杉野学園は、教育基本法及び学校教育法に従い、建学の精神に則った学校教育を行い、服飾に関する有為な人材を育成することを主たる目的としております。

この目的を達成するために設置された本学校法人杉野学園の平成30年度における概要は以下のとおりであります。

1. 主要な運営指標等の推移

区 分	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
学生在籍者数（単位：名）					
杉野服飾大学大学院	6	9	10	8	4
杉野服飾大学	799	739	714	690	760
杉野服飾大学短期大学部	90	84	91	87	82
杉野幼稚園	82	89	84	86	65
ドレスメーカー学院	206	183	214	196	195
ドレスメーカー学院通信教育部	242	168	168	-	-
入学志願者数（単位：名）					
杉野服飾大学大学院	3	8	4	8	3
杉野服飾大学	196	242	220	251	310
杉野服飾大学短期大学部	47	52	57	49	46
杉野幼稚園	32	38	22	26	16
ドレスメーカー学院	75	72	109	73	93
ドレスメーカー学院通信教育部	115	-	-	-	-
教職員数（単位：名）					
法人本部	4	4	3	3	3
杉野服飾大学	156	157	139	145	147
杉野服飾大学短期大学部	37	33	31	31	30
杉野幼稚園	13	13	14	13	11
ドレスメーカー学院	37	35	31	36	38
ドレスメーカー学院通信教育部	1	1	1	-	-
事業活動(帰属)収入（単位：百万円）	1,569	1,532	1,446	1,410	1,475
事業活動(消費)支出（単位：百万円）	1,658	1,682	1,631	1,573	1,538
資金収入（単位：百万円）	2,212	1,828	1,956	1,756	1,851
資金支出（単位：百万円）	1,955	1,910	1,954	1,812	1,880
借入金残高（単位：百万円）	1,026	874	750	626	547

(単位：%)

比率名	算式	26年度
帰属収支差額比率	$\frac{\text{帰属収入}-\text{消費支出}}{\text{帰属収入}}$	△5.7
消費支出比率	$\frac{\text{消費支出}}{\text{消費収入}}$	105.7
学生生徒等納付金比率	$\frac{\text{学生生徒等納付金}}{\text{帰属収入}}$	76.4
人件費比率	$\frac{\text{人件費}}{\text{帰属収入}}$	55.4
教育研究経費比率	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{帰属収入}}$	34.7
管理経費比率	$\frac{\text{管理経費}}{\text{帰属収入}}$	14.6
流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	145.2
負債比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{自己資金 ※1}}$	38.4
自己資金構成比率	$\frac{\text{自己資金 ※1}}{\text{総資金 ※2}}$	72.2
基本金比率	$\frac{\text{基本金}}{\text{基本金要組入額}}$	97.1

比率	算式	27年度	28年度	29年度	30年度
事業活動収支差額比率	$\frac{\text{基本金組入前当年度収支差額}}{\text{事業活動収入}}$	△9.8	△ 9.8	△ 11.5	△ 4.3
基本金組入後収支比率	$\frac{\text{事業活動支出}}{\text{事業活動収入計}-\text{基本金組入額}}$	110.7	110.7	113.2	110.7
学生生徒等納付金比率	$\frac{\text{学生生徒等納付金}}{\text{經常収入 ※3}}$	73.6	79.4	77.5	78.5
人件費比率	$\frac{\text{人件費}}{\text{經常収入 ※3}}$	58.3	57.6	59.7	54.1
教育研究経費比率	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{經常収入 ※3}}$	34.7	37.2	35.2	34.0
管理経費比率	$\frac{\text{管理経費}}{\text{經常収入 ※3}}$	15.8	15.9	16.3	16.0
流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	129.9	132.6	115.9	108.1
負債率	$\frac{\text{総負債}}{\text{純資産}}$	37.7	34.9	35.0	34.1
純資産構成比率	$\frac{\text{純資産}}{\text{負債}+\text{純資産}}$	72.6	74.1	74.1	74.6
基本金比率	$\frac{\text{基本金}}{\text{基本金要組入額}}$	97.1	97.1	97.3	97.4
教育活動資金収支差額比率	$\frac{\text{教育活動資金収支差額}}{\text{教育活動資金収入計}}$	5.9	4.9	4.4	5.4

※1 自己資金＝基本金＋消費収支差額

※2 総資金＝負債＋基本金＋消費収支差額

※3 「經常収入」＝教育活動収入計＋教育活動外収入計

2. 建学の精神と使命

本学園の創設者杉野芳子は、日本の近現代の過渡期にあつて、単身渡ったアメリカで自分自身の生活体験の中から西洋衣裳の制作技術と服飾文化を身に付けて、帰国後日本における服飾教育を開始した。その目指すところは日本における洋装の普及定着と服飾技術の習得による女性の自立であつた。彼女は洋装を日本人に適合させるための洋裁技術としてドレメ式原型を考案し、日比谷公会堂で日本初のファッションショーを開催するなど、日本における服飾教育の確立とモードの創出に取り組んだ。彼女はファッションを 20 世紀の新しい芸術の一分野として捉え、パリのエレガンスを日本に紹介した。彼女の取り組みの全てがパイオニア精神で満たされている。

本学園の建学と展開の理念は、挑戦（チャレンジ）の精神、創造する力、自立（自己実現）する能力である。

21 世紀初頭に入った現在、日本の服飾に関する産業と社会はかつてないほど国際化が進行し、素材生産から消費市場に至るすべての局面で様々な課題に直面している。この状況の中で、現在及び未来の日本のファッション産業の道を切り拓くチャレンジ精神をもって、芸術性・技術力と文化的教養に基づいた創造力を養い、専門職業人として社会で自立する能力のある人材を送り出すことが本学園の使命である。

3. 沿革

大正	15年	(1926)	3月	ドレスメーカー・スクール（現ドレスメーカー学院）を創立する
昭和	2年	(1927)	11月	ドレスメーカー女学院と校名変更する
	5年	(1930)	4月	洋服本科を開設する
	14年	(1939)	6月	デザイナー養成科を開設する
	24年	(1949)	4月	通信教育科を開設する
	25年	(1950)	4月	杉野学園女子短期大学被服科を開学する
			11月	杉野学園服飾図書館開館する
	26年	(1951)	3月	学校法人杉野学園として認可される
	32年	(1957)	5月	杉野学園衣裳博物館開館する
	33年	(1958)	4月	学院にデザインアート科を開設する
	36年	(1961)	4月	学院にドレスメーカー養成科を開設する
			4月	ドレメ通信教育講座が文部省認定となる
	37年	(1962)	4月	短大に生活芸術科を増設する
	39年	(1964)	4月	杉野学園女子大学家政学部被服学科を開学する
				杉野学園女子短期大学を杉野学園女子大学短期大学部と校名変更する
	41年	(1966)	4月	大学、短大が杉野女子大学、杉野女子大学短期大学部に校名変更する
	43年	(1968)	4月	学院に職業科を開設する
	45年	(1970)	4月	大学に被服構成・デザインコース、被服テキスタイルデザインコース、被服科学コース、被服芸術論文コースの4コースを開設する
	46年	(1971)	4月	杉野百草幼稚園（現杉野幼稚園）を開園する
	48年	(1973)	4月	大学に学芸員課程を開設する
			10月	学院の職業科を産業教育科と名称変更する
	51年	(1976)	4月	学院が専修学校制度の創設に伴う専門学校(服飾専門課程)に認可される
	63年	(1988)	8月	ドレスメーカー女学院をドレスメーカー学院と校名変更する
平成	7年	(1995)	4月	学院の本科と師範科を併せて服飾造形科とする
	12年	(2000)	4月	学院にファッションビジネス科を新設。産業教育科をアパレル技術科と名称変更し、3年制とする
			4月	短大にドレスクリエーション、コスチュームクリエーション、アパレルクリエーション、ライフスタイルクリエーションの4コースを開設する
			4月	中国の浙江工程学院（現浙江理工大学）と友好交流協定を締結する
	13年	(2001)	4月	日野市（日野キャンパス）に日野校舎 G棟（General Block）を竣工する
			4月	大学の教育課程を改定。1・2年次を共通の基礎課程とし、3年次以降を専門課程としてモードクリエーション、先端ファッション表現、感性産業デザイン、アートファブリックデザイン、ファッション文化論の5コースを開設する
	14年	(2002)	4月	短大のライフスタイルクリエーションコースを廃止する
			4月	大学、短大が杉野服飾大学(服飾学部服飾学科)、杉野服飾大学短期大学部(服飾学科)に校名変更し、男女共学とする
			4月	日野校舎に R棟（Representation Block）を竣工する
			4月	モスクワ国立繊維大学と日露服飾協力協定を締結する
			10月	杉野服飾大学付属図書館が竣工、開館する
	15年	(2003)	3月	短大の生活芸術科を閉科する
			4月	大学にファッションビジネス・マネジメントコースを開設する
	17年	(2005)	4月	大学にファッションプロダクトデザインコースを開設する
	19年	(2007)	4月	学院に高度アパレル専門科を開設。デザイナー科をアパレルデザイン科と名称変更する
	20年	(2008)	12月	浙江紡織服装職業技術学院と「両校友好交流に関する協定」を締結する
	21年	(2009)	4月	大学にファッションデザイン専攻科を開設する
	22年	(2010)	9月	杉野服飾大学日中服飾専門課程を浙江紡織服装職業技術学院に開設する
	23年	(2011)	4月	学院のファッションビジネス科をファッションサービス科に名称変更する
			12月	杉野ホールを竣工する
	24年	(2012)	4月	大学院造形研究科を開設する
	25年	(2013)	4月	学院のデザインアート科の募集を停止する
	27年	(2015)	4月	大学の教育課程を改定。1年次を初年次教育とし、モードテクノロジー系とファッションビジネス系に分ける。2年次以降の専門教育課程としてモードクリエーション、インダストリアルパターン、テキスタイルデザイン、ファッションプロダクトデザイン、ファッションビジネスマネジメント、ファッションビジネス流通イノベーションの6コースを開設する
			4月	ドレメ通信教育講座の募集を停止する
	29年	(2017)	2月	学院のアパレル技術科、高度アパレル専門科 文部科学省より職業実践専門課程認定となる
			4月	学院のファッションサービス科をファッションビジネス科に名称変更する
	30年	(2018)	1月	ドレメ通信教育講座を廃止する
			2月	学院の服飾造形科、ファッションビジネス科 文部科学省より職業実践専門課程認定となる
			4月	大学服飾学部に服飾表現学科を増設する

4. 学校法人杉野学園 組織・付属機関等

学校法人杉野学園（以下「法人」）は、教育基本法および学校教育法に従って、学校を設置することを目的に設置された法人であり、現在、杉野服飾大学、杉野服飾大学短期大学部、ドレスメーカー学院及び杉野幼稚園の4校を設置している。

法人組織における役員及び諸機関と役割は次の通りである。

組 織

理事会

本学の教育・研究の充実および向上を目的とする有効適切な経営管理を行うため、その基本的な施策、方針、計画等本法人の業務を決定する法人の最高の意思決定機関である。

予算や決算、重要な資産の処分、寄附行為の変更等の重要な事項はすべて理事会の議決を経なければならない。

【構成員9名中現員（30年9月27日現在）9名】

理事長

法人の代表者である。また、法人内部の業務の総括者（私立学校法第37条）であり、理事会、評議員会の招集者である。

評議員会

法人の業務若しくは財産の状況、役員の業務執行の状況について役員に対して意見を述べ、諮問に答え、役員から報告を徴することができる機関である。

【構成員21人以上28人以内中現員（30年4月1日現在）22名】

監事

法人の業務及び財産の状況を監査し、監査報告書を作成し、理事会・評議員会に提出する。

【構成員2名中現員（30年4月1日現在）2名】

学長

大学の代表者であり、大学教職員の統督者（学校教育法第92条）である。この他、法人の設置する学校の長として、短期大学部学長、ドレスメーカー学院院長、幼稚園園長がいる。

大学

大学は学長によって代表され、そのスタッフとして副学長、学部長、教務部長、学生部長、就職部長等がいる。大学全体の審議機関として、大学教授会がある。また、学長のもとに各委員会が常設され、大学の重要な事項が諮られる。

短期大学部

短期大学部には、短期大学部学長が置かれ、学科長、教務部長、学生部長、就職部長等がいる。また、短期大学部教授会が組織され、大学とほぼ同様に運営される。

ドレスメーカー学院

ドレスメーカー学院には、院長が置かれ、学生部長、就職部長、各科長、学年主任などの役職者がいる。また、院長のもとに教員会議が組織され、重要な事項が諮られる。

幼稚園

幼稚園には、園長が置かれ、主任がいる。また、園長のもとに職員会議が組織され、重要な事項が諮られる。

付属機関

図書館

図書館には、館長が置かれ、館長は、理事長の命を受けて館務を総括し、図書館を代表する。

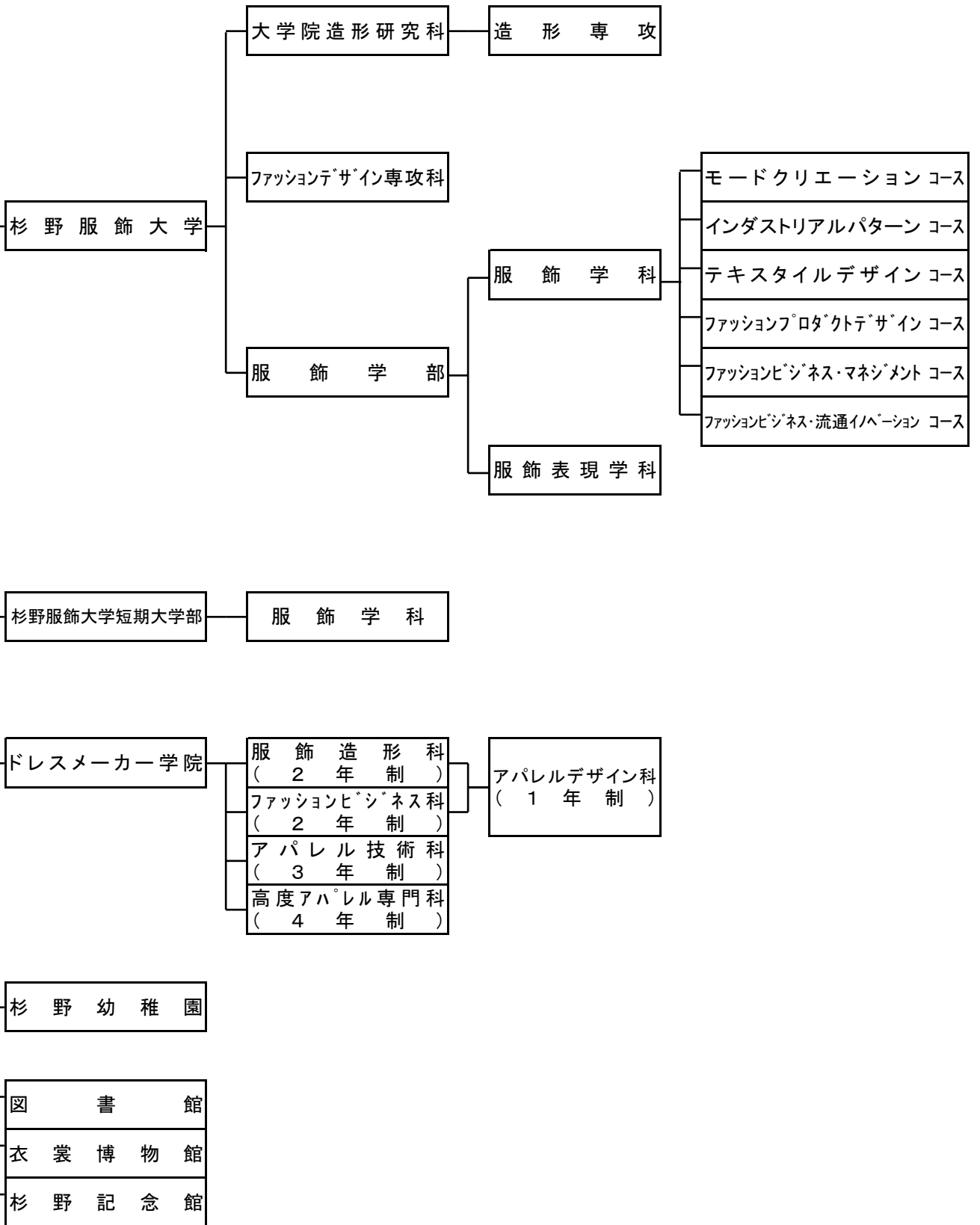
衣裳博物館・博物館分室

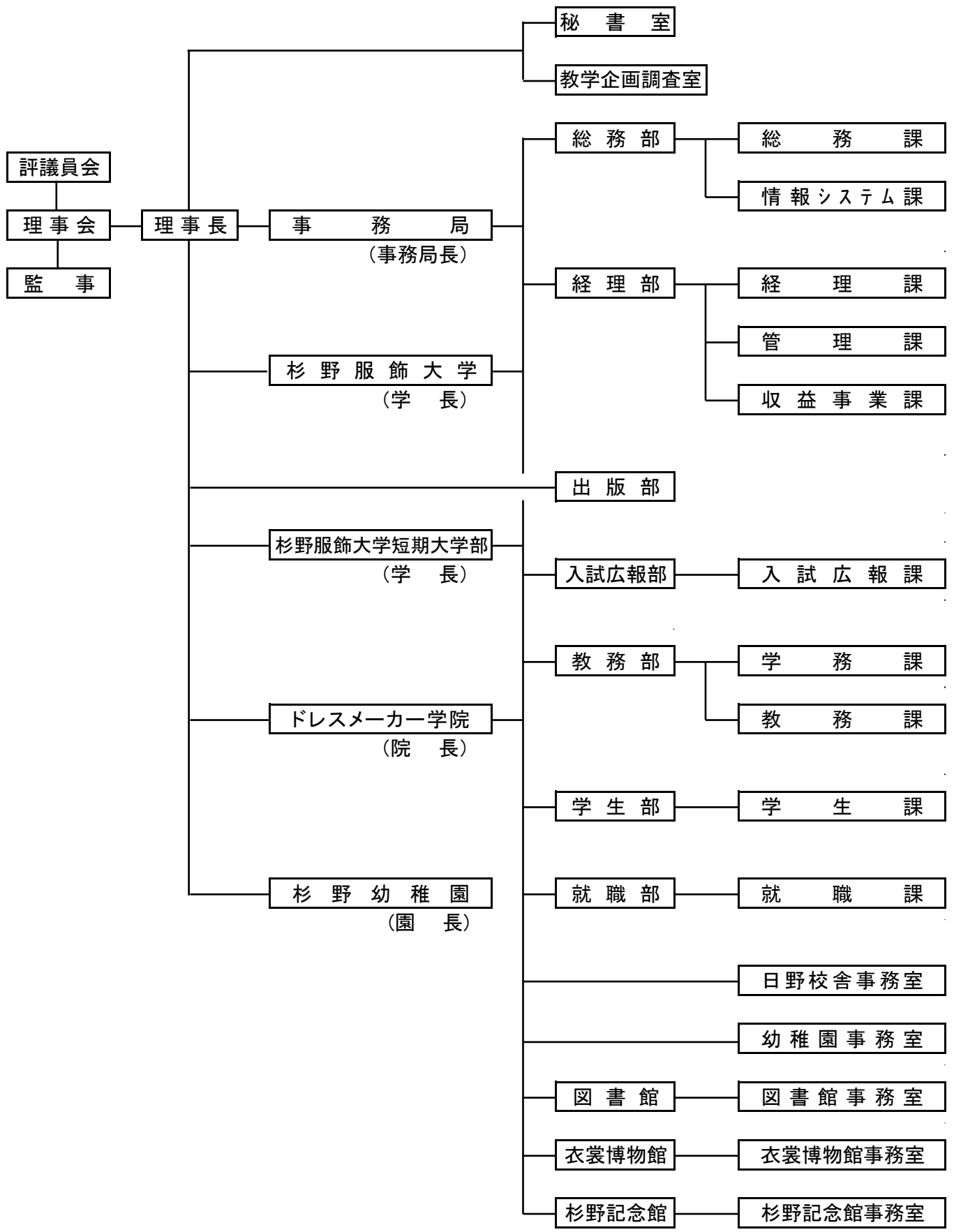
博物館には、館長が置かれ、館長は、理事長の命を受けて館務を総括し、博物館を代表する。

杉野記念館

記念館には、館長が置かれ、館長は、理事長の命を受けて館務を総括し、記念館を代表する。

学
校
法
人
杉
野
学
園





5. 学部・課程、学科・科別収容定員・入学定員・入学者数等及び学位授与数

過去5年間の入学定員・総定員等生徒数一覧（5月1日基準）

杉野服飾大学大学院 造形研究科

[単位:人]

区分	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
収容定員	20	20	20	20	20
入学定員	10	10	10	10	10
入学者数	3	6	4	4	0
在籍者数	6	9	10	8	4
修了生数	3	3	5	2	4
学位授与数	3	3	5	2	4

杉野服飾大学 服飾学部

[単位:人]

区分	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
収容定員	1,020	1,020	1,020	1,020	1,020
入学定員	240	240	240	240	240
入学者数	153	174	164	196	215
在籍者数	799	739	714	690	760
卒業生数	210	162	193	133	157
学位授与数	210	162	193	133	157

杉野服飾大学短期大学部 服飾学科

[単位:人]

区分	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
収容定員	140	120	100	100	100
入学定員	70	50	50	50	50
入学者数	42	42	51	41	44
在籍者数	90	84	91	87	82
卒業生数	40	38	40	42	33
学位授与数	40	38	40	42	33

過去5年間の入学定員・総定員等生徒数一覧（5月1日基準）

ドレスメーカー学院

学科名	修業年限	平成25年度					平成26年度				
		入学定員	総定員	入学者数	在籍者数	卒業者数	入学定員	総定員	入学者数	在籍者数	卒業者数
服飾造形科	2年	70	140	44	92	40	70	140	40	82	36
アパレル技術科	3年	35	105	18	46	9	30	100	15	46	18
ファッションサービス科	2年	30	60	13	24	10	30	60	13	24	9
高度アパレル専門科	4年	10	40	16	52	12	15	45	3	40	12
アパレルデザイン科	1年	30	30	11	11	10	30	30	14	14	13
デザインアート科	1年	10	10	募集停止	—	—	5	5	募集停止	—	—
計		185	385	102	225	81	180	380	85	206	88

学科名	修業年限	平成27年度					平成28年度				
		入学定員	総定員	入学者数	在籍者数	卒業者数	入学定員	総定員	入学者数	在籍者数	卒業者数
服飾造形科	2年	70	140	37	76	36	70	140	43	79	34
アパレル技術科	3年	30	95	15	42	11	30	95	30	58	16
ファッションサービス科	2年	30	60	6	16	10	30	60	17	22	5
高度アパレル専門科	4年	15	50	9	36	12	15	55	17	40	12
アパレルデザイン科	1年	30	30	13	13	13	35	35	15	15	15
デザインアート科	1年	5	5	募集停止	—	—					
計		180	380	80	183	82	180	385	122	214	82

学科名	修業年限	平成29年度					平成30年度				
		入学定員	総定員	入学者数	在籍者数	卒業者数	入学定員	総定員	入学者数	在籍者数	卒業者数
服飾造形科	2年	70	140	37	74	36	70	140	53	85	29
アパレル技術科	3年	30	90	18	54	10	30	90	15	53	23
ファッションサービス科	2年	15	30	—	12	10	—	—	—	—	—
ファッションビジネス科	2年	15	30	7	7	—	30	60	6	11	5
高度アパレル専門科	4年	15	60	8	33	2	15	60	7	34	8
アパレルデザイン科	1年	35	35	15	15	15	35	35	12	12	12
計		180	385	85	195	73	180	385	93	195	77

過去5年間の入学定員・募集数・園児数一覧(5月1日基準)

杉野幼稚園

[単位:人]

区 分	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
収容定員	315	315	315	315	315
入学定員	105	105	105	105	105
募集者数	54	54	54	54	54
入学者数	28	34	22	26	14
園児数	82	89	84	86	65
年 少	28	34	22	26	14
年 中	26	28	34	24	26
年 長	28	27	28	36	25
卒園児数	28	27	28	36	25

6. 入試に関する状況

[単位:人]

杉野服飾大学 大学院	平成26度	平成27度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
志願者	3	8	4	8	3
入学者	3	6	4	4	0

杉野服飾大学	平成26度	平成27度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
志願者	196	242	220	251	306	
入学者	153	174	164	196	215	
内 訳	AO入試	91	85	68	100	120
	推薦	39	60	67	75	71
	一般	16	18	15	13	12
	センター	7	11	14	8	12

[単位:人]

杉野服飾大学 短期大学部	平成26度	平成27度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
志願者	47	52	57	49	46	
入学者	42	42	51	41	44	
内 訳	AO入試	23	20	16	18	25
	推薦	18	21	30	22	19
	一般	1	1	5	1	0
	センター	0	0	0	0	0

[単位:人]

杉野幼稚園	平成26度	平成27度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
志願者	29	36	22	27	15
入学者	28	34	22	26	14

ドレスメーカー 学院	平成26度	平成27度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
志願者	76	72	109	73	87
入学者	71	67	107	70	80

7. 就職・進学等の状況

杉野服飾大学

年度	卒業生数	就職希望者数		内定者数	内定率	進学者数
	(人)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)
平成30年度	157	122	77.7%	121	99.2%	3
平成29年度	133	104	78.2%	104	100.0%	7
平成28年度	193	153	79.3%	153	100.0%	8
平成27年度	162	129	79.6%	129	100.0%	11
平成26年度	210	169	80.5%	168	99.4%	21

注:内定率(%)は、就職希望者に占める内定者の割合を示します。[杉野服飾大学短期大学部、ドレスメーカー学院についても同じ。]
注:杉野服飾大学には、大学院・専攻科の人数は含まれません。

杉野服飾大学短期大学部

年度	卒業生数	就職希望者数		内定者数	内定率	進学者数
	(人)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)
平成30年度	33	21	63.6%	20	95.2%	2
平成29年度	42	38	90.5%	38	100.0%	2
平成28年度	40	25	62.5%	25	100.0%	6
平成27年度	38	35	92.1%	35	100.0%	3
平成26年度	40	33	82.5%	33	100.0%	5

ドレスメーカー学院

年度	卒業生数	就職希望者数		内定者数	内定率	進学者数
	(人)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)
平成30年度	77	55	71.4%	55	100.0%	15
平成29年度	73	55	75.3%	55	100.0%	13
平成28年度	82	59	72.0%	59	100.0%	15
平成27年度	82	58	70.7%	58	100.0%	18
平成26年度	88	65	73.9%	64	98.5%	16

8. 検定試験に関する状況

平成30年度 検定試験結果

杉野服飾大学

検定名	受験者数	合格者数	合格率	備考
ファッション色彩能力検定 3級	11	7	63.6%	1年3名(合格1) モード3名(合格3) プロダクト1名(合格1) マネジメント2名(合格1) イノベーション2名(合格1)
2級	14	10	71.4%	モード8名(合格6) インダストリアル5名(合格3) マネジメント1名(合格1)
ファッションビジネス検定 3級	1	1	100.0%	FBマネジメント
ファッション販売能力検定 3級	10	10	100.0%	1年6名 インダストリアル1名 イノベーション3名
2級	6	1	16.7%	1年5名(合格1) イノベーション1名
パターンメイキング技術検定 2級	25	1	4.0%	インダストリアル24名(合格1) モード1名
フォーマルスペシャリスト検定準2級	11	11	100.0%	モード2名 インダストリアル8名 テキスタイル1名
ブライダルファッションプランナー検定	1	1	100.0%	モード
レザーソムリエ 初級	10	5	50.0%	プロダクト10名
ショップディスプレイ 3級	12	12	100.0%	モード2名 テキスタイル1名 FBマネジメント5名 イノベーション4名

杉野服飾大学短期大学部

検定名	受験者数	合格者数	合格率	備考
ファッション色彩能力検定 3級	9	7	77.8%	
2級	1	0	0.0%	
ファッションビジネス検定 2級	1	0	0.0%	
ファッション販売能力検定 2級	1	0	0.0%	
フォーマルスペシャリスト検定準2級	4	4	100.0%	
ブライダルファッションプランナー検定	7	7	100.0%	

ドレスメーカー学院

検 定 名	服飾造形科			ファッションビジネス科			アパレル技術科			高度アパレル専門科			
	受験者数	合格者数	合格率	受験者数	合格者数	合格率	受験者数	合格者数	合格率	受験者数	合格者数	合格率	
ファッション色彩能力検定 3級	36	27	75.0%	6	3	50.0%	13	12	92.3%	6	5	83.3%	
	2級	6	2	33.3%						2	1	50.0%	
ファッションビジネス検定 3級	42	30	71.4%	5	4	80.0%	14	12	85.7%	7	6	85.7%	
	2級			4	1	25.0%	10	6	60.0%	6	4	66.7%	
ファッション販売能力検定 3級				5	4	80.0%							
	2級						1	1	100.0%				
パターンメイキング技術検定 3級	29	28	96.6%				14	14	100.0%	7	7	100.0%	
	2級						23	22	95.7%				
	1級						15	3	20.0%				
洋裁技術検定	初級	39	37	94.9%				13	13	100.0%	7	7	100.0%
	中級	26	21	80.8%						6	6	100.0%	
	上級						4	4	100.0%				
フォーマルスペシャリスト検定準2級	45	37	82.2%	6	6	100.0%	13	13	100.0%	7	7	100.0%	
ブライダルファッションプランナー検定							4	4	100.0%				

9. 教員数等

1. 専任教員(平成30年5月1日現在)

[単位:人]

所 属	学長等	教 授	准教授	講 師	助教	助 手	教諭	合 計
大 学	2	16	7	7	8	7		47
短 大		4	2		1			7
幼稚園	1						4	5
ドレスメーカー学院	1	7	5	1		3		17
合 計	4	27	14	8	9	10	4	76

[契約専任教員(平成30年5月1日現在)]

[注:上表の人数の内数です]

所 属	学長等	教 授	准教授	講 師	助教	助 手	教諭	合 計
大 学		6	5	4	8	7		30
短 大		1	1		1			3
幼稚園								
ドレスメーカー学院		3	1		2	1		7
合 計		10	7	4	11	8		40

2. 専任職員(平成30年5月1日現在)

[単位:人]

	専 任	常勤嘱託	合 計
本 部	1 (1)	2 (0)	3 (1)
大 学	12 (8)	20 (12)	32 (20)
短 大	3 (2)	3 (2)	6 (4)
幼稚園	(0)	2 (1)	2 (1)
ドレスメーカー学院	6 (5)	2 (2)	8 (7)
合 計	22 (16)	29 (17)	51 (33)

注:上表各欄の()は女子内数です

10. 役員 の 状 況

平成 30 年 9 月 27 日現在

役 名	氏 名	略 歴
理事長	中村 賢二郎	昭和 8 年生まれ。 昭和 55 年 文部省初等中等教育局職業教育課長 平成 9 年 別府大学学長・別府大学教授 平成 15 年 学校法人杉野学園評議員、理事就任 (現) 杉野服飾大学・同短期大学部学長 (現) 杉野服飾大学教授 (現) 平成 16 年 学校法人杉野学園理事長就任 (現)
理 事	佐々木 千春	昭和 34 年生まれ。 平成 2 年 株式会社フォルトナボックス代表取締役社長就任(現) 平成 20 年 株式会社 FBC 取締役就任(現) 平成 27 年 ドレスメーカー学院院長就任 (現) 平成 27 年 学校法人杉野学園評議員、理事就任 (現)
理 事	北折 貴子	昭和 35 年生まれ。 平成 22 年 杉野服飾大学服飾学部 教授 (現) 平成 23 年 学校法人杉野学園評議員就任 (現) 平成 28 年 杉野服飾大学服飾学部長就任 (現) 平成 29 年 学校法人杉野学園理事就任 (現)
理 事	岡 正子	昭和 33 年生まれ。 平成 9 年 岡学園長野ファッションカレッジ校長就任 (現) (現岡学園トータルデザインアカデミー) 平成 17 年 株式会社エコマコ代表取締役就任 (現) 平成 23 年 ドレスメーカー学院院長就任 平成 29 年 学校法人杉野学園評議員、理事就任 (現)
理 事	遠山 壽一	昭和 12 年生まれ。 平成 16 年 出光興産株式会社特別顧問 (平成 22 年まで) 平成 18 年 学校法人杉野学園評議員、理事就任 (現)
理 事	杉野 秀	昭和 5 年生まれ。 平成 元年 学校法人杉野学園評議員就任 (現) 平成 11 年 学校法人杉野学園理事就任 (現) 平成 14 年 杉野記念館館長就任 (現)
理 事	白井 久也	昭和 8 年生まれ。 平成 9 年 日露歴史研究センター代表 (現) 平成 14 年 杉野服飾大学客員教授 (現) 平成 15 年 学校法人杉野学園評議員、理事就任 (現)
理 事	田村 誠	昭和 15 年生まれ。 昭和 63 年 文化庁文化財保護部長 平成 4 年 京都大学事務局長 平成 20 年 財団法人日本博物館協会専務理事 平成 23 年 学校法人杉野学園評議員、理事就任 (現) 平成 29 年 杉野服飾大学副学長就任 (現)
理 事 ※	内藤 朗	昭和 27 年生まれ。 平成 9 年 一般社団法人日本ホビー協会理事就任 (現) 平成 17 年 株式会社ブティック社代表取締役社長 (現) 平成 29 年 学校法人杉野学園評議員就任 (現) 平成 30 年 学校法人杉野学園理事就任 (現)
監 事	田中 健一郎	昭和 21 年生まれ。 昭和 57 年 小倉田中法律事務所所属 (現ひびき法律事務所) 平成 17 年 学校法人杉野学園監事就任 (現)
監 事	黒崎 勝之	昭和 13 年生まれ。 平成 17 年 日本私立学校振興・共済事業団監事 平成 25 年 学校法人杉野学園監事就任 (現)

※ 内藤 朗 理事 第 2 回理事会 (H30.9.26 開催) で選出
前理事 日高 紘一郎理事 死亡により欠員 (H30.2.8~H30.9.26)

評議員 22 名

Ⅱ. 平成30年度事業概要

1. 第2次中期計画の推進

第2次中長期計画の5ヵ年計画第3年次として、各学校の目標とする入学者数の確保を重点として、オープンキャンパスの開催・運営方法に工夫を凝らし、広報・募集活動の充実強化を進めた。

31年度の入学者数は、大学が服飾学科・服飾表現学科合せて前年度より7名増加し、ほぼ目標数となった。短期大学部及びドレスメーカー学院はほぼ前年度同数となり、目標数を下廻ることとなった。幼稚園は前年度より15名増加し、ほぼ目標数となった。

平成30年度の教育活動収支差額は、各学校とも経費の節減・合理化や効率的な執行に努めたものの、短期大学部・ドレスメーカー学院とも入学者が目標を下回った影響もあり計画未達成となった。この結果、教育活動収支差額は、大学が計画を約54百万円上回ってプラス約51百万円となったが、法人全体として計画の数値より約64百万円を下回って、マイナス約1億4百万円となった。

また、服飾表現学科の開設に併せて、専門課程における教育環境の整備のため、日野キャンパスの施設設備の整備充実を図り、私学事業団からの借入金等を得て、日野校舎百草苑耐震補強及び改修を実施した。

2. 杉野服飾大学服飾学部服飾表現学科の開設

杉野服飾大学服飾学部に平成30年度服飾表現学科を新設した。平成29年4月に文部科学大臣に学科設置の届出を行い、学生募集を開始し、平成30年4月に新入生を迎えた。新設学科は、演劇などの衣装デザイン、映像・メディア表現、ショープロデュース、スタイリング、ビジュアルマーチャンダイジングなど服飾の表現に関する専門的な職業の知識技術を包括的に教育研究する日本で初めての高等教育機関である。

学科開設のためのカリキュラムの編成と専門家の教授陣を含めた教育組織などを整備し、専門課程教育の実施に向けて教育体制を整えた。令和元年度には更にカリキュラムの運営について検討を行い、学生が一つの専攻を決めて修了制作を行うとともに、幅広い知識と技術を身に着けるため複数の専攻の授業を履修できるようにするとの方針のもと、平成30年度の秋には各専攻等の担当教授予定者と相談の上、具体的な授業計画を立て、シラバスを作成した。令和元年度には2年次の専門課程が始まり、日野校舎での授業がスタートする。

更に、専門課程教育を円滑に実施するため、日野校舎における百草苑耐震補強及び改修を実施するなど施設設備の整備充実を図った。

3. ドレスメーカー学院の自己点検・評価

ドレスメーカー学院は、外部の評価機関による「第三者評価」を受ける方針のもとに、自己点検・評価委員会による点検評価を行った。同時に、業界関係者を委員に委嘱した教

育課程委員会による教育内容の検討と外部の専門家等に委嘱した学校関係者評価委員会による点検評価を行った。

平成 30 年度に行ったこれらの委員会の点検評価については、平成 31 年 9 月以降に順次ホームページで公表するとともに、自己点検・評価報告書を刊行することとしている。

4. 杉野服飾大学日中服飾専門課程の教育の推進

中国浙江省寧波市の浙江紡織服装職業技術学院（高卒後 3 年生の服飾専科学校）と合作で同学院に開設した「杉野服飾大学日中服飾専門課程」は、平成 22 年 9 月に第 1 期生 60 名が入学して以来順調に運営され、平成 30 年 9 月には第 9 期として 83 名の新入生を迎えた。また、今年の 4 月には杉野服飾大学に 7 名の学生が編入学した。

平成 30 年 8 月 19 日から 9 月 1 日の 14 日間、本学において「杉野服飾大学におけるドレーピング&パターンメイキング講習会」を開催し、浙江紡織服装職業技術学院の教員 14 名が参加した。

平成 26 年度から日中服飾専門課程の学生を対象に行っている「杉野服飾大学で日本のファッションと文化を見て学ぶ短期研修旅行」は、開催時期を 2 月としていたが、年度を改め開催することとし、令和元年 7 月に開催予定である。

5. 国際交流の推進

世界で活躍できるクリエータ育成のために、今年度は、ベルギーアントワープ研修旅行をはじめ、イギリスの短期留学プログラム、短期語学留学プログラム、パリコレクション見学旅行、ニューヨーク研修旅行などの海外研修を多く実施した。協定校である中国浙江理工大学、A. N. コスイギン名称ロシア国立大学との交流については、相互訪問を行い、ファッションコンテストへの参加や教員の特別講義等を実施した。

6. 大学・短期大学部服飾造形夏期セミナーと教員免許状更新講習の開催

平成 18 年度から高校の家庭科教員を対象に実施しているセミナーは平成 30 年度で 13 回目を迎え、8 月 3 日・4 日の 2 日間実施した。アンケート結果により、造形と講義の開講日を一部変更し両日造形講座も取れるように実施した。講座はドレス構成に関する 3 講座、手芸的な内容の 1 講座、講義系の 2 講座と PC 系の 2 講座を行った。

また、教員免許状更新講習については、平成 20 年度の「予備講習」から文部科学省の認定を受けて開催してきているが、平成 30 年度も高、中、小学校の教諭（「家庭科」以外を含む）を対象として、「草木染め」「トートバッグ制作」「ドローイング」の 3 コースを設けて、8 月 2 日（木）から 4 日（土）までの 3 日間、定員 90 名で実施した。更新講習では、受講者から講習評価を受けているが、平成 30 年度も講習の内容・方法について、各講座とも極めて高い評価を受けた。

7. 教職課程における教育職員免許法改正に伴う再課程認定

教育職員免許法及び同法施行規則の改正に伴い、平成31年4月1日より新教職課程が開始することとなるため、現在認定を受けている服飾学科の教職課程については、改めて平成30年度中に認定を受けるための申請を行った。平成29年度から再課程申請の準備を開始し、平成30年度に申請を行い、平成31年2月に文部科学大臣から「再課程認定」を受けた。これにより、服飾学部服飾学科では平成31年4月より「新教職課程」をスタートさせる。なお、在学履修者については、引き続き旧課程のカリキュラムで指導していく。

8. 全国ファッションデザインコンテストの開催

本学園が一般財団法人ドレスメーカー服飾教育振興会と共同で開催する全国ファッションデザインコンテストは、平成30年度は56回目を迎えた。10月16日（土）に本学園の杉野ホールでショー形式による本審査と表彰を前年と同じ内容で実施した。

9. 杉野服飾大学附属図書館所蔵資料のデジタル化計画の推進

平成22年3月よりPC接続型のマイクロフィルムリーダー機器による本館所蔵資料のデジタル化を開始した。当初マイクロフィルム保存分の卒制・卒論を対象に行っていたが、平成25年11月からは劣化の著しい「Vogue U.S.A.版」（昭和51年購入、ロール型マイクロフィルム）のデジタル化を最優先で行っており、平成30年度末までに34ロール完了。作業を継続中である。また、本を見開きのままスキャンできるコンパクトスキャナによる、本館所蔵の貴重書のデジタル化は、平成27年度より、杉野芳子先生の著作物から開始しており、平成30年度末までに、50冊完了。作業を継続中である。

10. 杉野服飾大学短期大学部の社会貢献活動

杉野服飾大学短期大学部は、2年次の「社会貢献プログラム」という科目で地域の団体と様々な取り組みを行った。品川区とは協定を結んでおり、それに基づき平成30年度は品川区八潮児童センターにおいて「Tシャツリメイク」「トートバック作り」のワークショップを行い、児童センター主催の夏フェスにも参加、飾り付け、メイク、コーディネート、演出などでファッションショーを盛り上げた。また同じく品川区平塚児童センターでは「シルクスクリーンを使ったトートバック作り」「ロゼット作り」のワークショップを行い、その発表会にも立ち会った。その他近隣マンションなどの住民の方からなる夕陽会とは年少の子供から小学生までを対象に「大人向けのサコッシュ作り」「まもるっちストラップ作り」のワークショップを催し、目黒商工まつりでは「プラ板」「くるみボタンのアクセサリー」のワークショップを各1日ずつ行った。目黒区民まつり（目黒のSUNまつり）ではポスター・チラシデザインを行った。また、MISC（目黒インテリアショップコミュニティ）とのコラボレーションによる気仙沼支援活動としてインテリアの残布を使用した小物の制作・販売も行い、その売り上げで気仙沼では手に入らない服飾資材などを購

入し、送った。生涯を通じて社会貢献の精神を培って欲しいとの思いから、1年次にもさんままっりのボランティアや八潮児童センター「ぞうきんアート」のワークショップやTAとして入学前講座などに参加してもらっている。短期大学部では、このように2年間を通じていろいろな社会貢献活動を広げている。

11. ドレメサマーセミナーの実施

ドレスメーカー学院では、毎年サマーセミナーを実施している。「杉野芳子アーカイブ研究」と題し、1950年代、1960年代、1970年代と3つの時代に分け、平成27年度より、4カ年計画で研究発表を企画し、第1回1950年代、第2回1960年代、第3回1970～74年、第4回は平成30年7月24日（土）に行った。午前の部は、1975～77年の作品から啓発され、現代のファッションへと展開した教員の作品発表と研究解説を行った。午後は、宮浦晋哉氏による「繊維産地への旅」の講演を開催した。

12. 小中学生に対するものづくり教室等の開催

小中学生が服飾に関するものづくりを体験し、喜びを味わうことは小中学生の人間的成長に大きな意味を持つ。この観点からドレスメーカー学院では、品川区教育委員会と協力して、品川区と目黒区内の小中学生を対象とした「ドレメキッズスクール」を開催してきているが、平成30年度も7月26日（木）に実施した。

また、杉野服飾大学では、目黒区、品川区、大田区の中中学生を対象に「杉野ファッショングッズ中学生セミナー ―My Bagをつくろう―」を平成22年度から行っている。平成30年度も平成31年3月に実施した。

13. 杉野学園衣裳博物館企画展の開催

平成27年度に渡辺雪三郎氏よりミッチ・渡辺雪三郎・オートクチュール作品コレクション51点の寄贈を受けた。平成28年度後期から平成29年度前期まで企画展を開催し、作品を展示した。平成30年度は、展示終了後脱衣した作品の害虫処理を行い、収蔵庫に保管する作業を行った。

平成29年度後期から平成30年度前期まで会期を2期に分け、企画展「杉野芳子コレクション設立記念展」を開催し、作品を公開した。また、企画展開催に伴いカタログを製作し、販売を行った。

14. 杉野芳子コレクション設立準備の継続実施

平成27年度より杉野芳子先生の遺作品を保存、活用するため、衣裳博物館に「杉野芳子コレクション」を設けることとし、そのための作業を4,5年間で完了する計画で開始した。

企画展で第1期に公開した1950年代から1960年代の作品は、殺虫処理・クリーニングを行い、保存箱を作成し収納した。平成30年度も、この作業を継続実施した。

15. 目黒商工まつり・目黒リバーサイドフェスティバルへの参加

平成 24 年度より目黒区商工会議所が主催する目黒商工まつり「目黒リバーサイドフェスティバル」に参加している。平成 30 年度は、台風の影響で杉野学園の展示と、1 日のみ杉野服飾大学短期大学部がワークショップを実施した。

また目黒区商工まつりが取り組んでいるごみゼロキャンペーン啓発活動には、今年度も学生自治会が主体となって参加し、社会貢献活動を行った。

16. アトレ目黒店とのコラボレーション

目黒駅のショッピングセンターatre 目黒店が実施している「アトレとお客様、街（地域）とつながり、共に明日を育てくイベント a+（アトレト）」に平成 25 年度から本学も参画し、アトレ目黒店内で本学の特色を活かしたワークショップや展示を開催、地域連携を推進している。平成 30 年度には、28 年度、29 年度「銀座マギー」とコラボレーションを行った大学ファッションプロダクトデザインコースとインダストリアルパターンコース、更に株式会社共和レザーが加わって、学生がデザインしたバックやスカートが商品化されアトレ目黒店内で販売された。

Ⅲ. 財務の概要

平成30年度における学校法人杉野学園の予算の執行状況等について、その概要を以下のとおり報告します。

(1) 資金収支計算書

「資金収支計算書」は、当学校法人の平成30会計年度における諸活動に対応するすべての収入・支出の顛末を明らかにしたものです。

資金収入合計は18億51百万円となり、予算を12百万円上回りました。これは、収益事業からの繰入等によるものです。

資金支出合計は18億80百万円となり、予算を1億74百万円下回りました。これは、人件費、教育研究経費、管理経費をはじめとして主要の科目で予算額を下回ったことに加え、施設関係支出が校舎改修工事に伴う会計処理もあり予算額を下回ったことによります。この結果、翌年度繰越支払資金について、前年度とほぼ同額の7億69百万円を翌年度に繰り越すことができました。

① 資金収入

学生生徒等納付金収入は11億55百万円となりました。授業料（保育料）、入学金、実験実習料及び施設設備整備費等であり、学費納入学生・生徒等の数は大学院が4人、大学760人、短期大学部82人、ドレスメーカー学院が195人、幼稚園が65人でした。

手数料収入は14百万円となりました。入学検定料がその殆どを占めておりますが、入学志願者数については、学生の確保に向けて有効な対策を実施するよう努めております。

寄付金収入のうち、主なものは「学校法人杉野学園奨学金募金事業」として、在学生、卒業生、教職員、及び企業からいただいた寄付金であり、1百万円となりました。

補助金収入は、日本私立学校振興・共済事業団執行の「私立大学等経常費補助金」や東京都執行の「私立学校経常費補助金」等により、1億43百万円となりました。

本年度は、ドレスメーカー学院に東京都から職業実践専門課程推進補助金が措置されました。

② 資金支出

人件費支出は8億8百万円となり、予算額を23百万円下回りました。

30年度（5月1日現在）における本務教員数は、大学が47人、短期大学部が7人、ドレスメーカー学院が17人、幼稚園が5人となっています。

本務職員については、技術助手を含めて51人となっています。また、これら本務教職員以外に兼務教職員（非常勤教職員）を配置していますが、その数は兼務教員が89人（延数）、兼務職員については、技術助手を含めて13人となっています。

教育研究経費支出は3億31百万円となり、予算額を15百万円下回りました。設置している各学校の教育研究諸活動に必要な消耗品費、光熱水費、旅費交通費、印刷費、保守費及び委託料等が主な支出であります。本年度は校舎改修工事に伴う

修繕費が増加しました。

管理経費支出は2億20百万円となり、予算額を12百万円下回りました。学生募集、各設置学校全般に係る経費及び法人の運営に必要な諸経費が主な支出であります。

なお、管理経費支出の経常的経費については、引続き節減・合理化や効率的な執行を徹底しました。

施設及び設備関係支出は43百万円及び57百万円であり、日野校舎等の改修事業やリース契約による設備導入を進めました。

資金収支計算書

平成30年 4月 1日から

平成31年 3月31日まで

学校法人 杉野学園

(単位:円)

収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	1,158,161,000	1,155,097,691	3,063,309
手数料収入	14,050,000	13,872,792	177,208
寄付金収入	2,190,000	1,116,212	1,073,788
補助金収入	138,091,000	142,763,005	△ 4,672,005
資産売却収入	0	0	0
付随事業・収益事業収入	85,320,000	133,900,328	△ 48,580,328
受取利息・配当金収入	10,000	9,568	432
雑収入	8,801,000	20,472,617	△ 11,671,617
借入金等収入	45,000,000	45,000,000	0
前受金収入	416,490,000	483,215,544	△ 66,725,544
その他の収入	393,000,000	367,553,411	25,446,589
資金収入調整勘定	△ 422,115,000	△ 512,039,693	89,924,693
前年度繰越支払資金	640,000,000	798,926,403	
収入の部合計	2,478,998,000	2,649,887,878	△ 170,889,878
支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
人件費支出	831,501,000	808,059,906	23,441,094
教育研究経費支出	345,820,000	331,059,554	14,760,446
管理経費支出	231,886,000	219,607,435	12,278,565
借入金等利息支出	5,720,000	5,620,259	99,741
借入金等返済支出	124,070,000	124,070,000	0
施設関係支出	81,018,000	43,097,804	37,920,196
設備関係支出	58,074,000	56,549,940	1,524,060
資産運用支出	2,000,000	913,685	1,086,315
その他の支出	393,287,000	396,549,176	△ 3,262,176
[予備費]	(2,800,000)		
	27,200,000		27,200,000
資金支出調整勘定	△ 45,800,000	△ 105,114,235	59,314,235
翌年度繰越支払資金	424,222,000	769,474,354	△ 345,252,354
支出の部合計	2,478,998,000	2,649,887,878	△ 170,889,878

(単位:円)

予備費の使用内訳

設備関係支出

教育研究用機器備品支出

2,100,000

管理用機器備品支出

700,000

(2) 事業活動収支計算書

「事業活動収支計算書」は、当該会計年度における事業活動収支の均衡状態を教育活動収支、教育活動外収支、特別収支に区分してその内容を明らかにし、学校法人の経営状況が健全であるかどうかを示すもので、いわば企業会計の「損益計算書」に当たるものといえます。

教育活動収支はマイナス1億5百万円となりました。学生生徒等納付金をはじめとする教育活動収入の合計が14億27百万円に対して、人件費、教育研究経費、管理経費の教育活動支出の合計が15億32百万円となったことによるものです。

教育活動外収支はプラス39百万円となりました。受取利息・配当金収入、収益事業収入の教育活動外収入の合計が45百万円に対して、借入金利息の教育活動外支出が6百万円となったことによるものです。

特別収支はプラス2百万円となりました。

すべての収支を加減した結果、平成30年度の基本金組入前当年度収支差額はマイナス63百万円となり、85百万円の基本金組入を行ったことにより、当年度収支差額はマイナス1億48百万円となりました。この結果、前年度と比較して収支差額の改善（約80百万円）が図られました。

事業活動収支計算書

平成30年 4月 1日から

平成31年 3月31日まで

(単位：円)

		科目	予算	決算	差異
教育活動収入の部	事業活動収入の部	学生生徒等納付金	1,158,161,000	1,155,097,691	3,063,309
		手数料	14,050,000	13,872,792	177,208
		寄付金	2,190,000	1,165,296	1,024,704
		経常費等補助金	138,091,000	140,138,005	△ 2,047,005
		付随事業収入	85,320,000	88,900,328	△ 3,580,328
		雑収入	8,801,000	28,151,080	△ 19,350,080
		教育活動収入計	1,406,613,000	1,427,325,192	△ 20,712,192
			科目	予算	決算
	事業活動支出の部	人件費	840,470,000	796,738,397	43,731,603
		教育研究経費	504,845,000	499,957,696	4,887,304
		管理経費	239,511,000	235,365,439	4,145,561
		徴収不能額等	0	0	0
		教育活動支出計	1,584,826,000	1,532,061,532	52,764,468
	教育活動収支差額		△ 178,213,000	△ 104,736,340	△ 73,476,660
教育活動外収入の部	事業活動収入の部	科目	予算	決算	差異
		受取利息・配当金	10,000	9,568	432
		その他の教育活動外収入	0	45,000,000	△ 45,000,000
		教育活動外収入計	10,000	45,009,568	△ 44,999,568
	事業活動支出の部	科目	予算	決算	差異
		借入金等利息	5,720,000	5,620,259	99,741
		その他の教育活動外支出	0	0	0
		教育活動外支出計	5,720,000	5,620,259	99,741
	教育活動外収支差額		△ 5,710,000	39,389,309	△ 45,099,309
	経常収支差額		△ 183,923,000	△ 65,347,031	△ 118,575,969
特別収入の部	事業活動収入の部	科目	予算	決算	差異
		資産売却差額	0	0	0
		その他の特別収入	0	2,625,000	△ 2,625,000
		特別収入計	0	2,625,000	△ 2,625,000
	事業活動支出の部	科目	予算	決算	差異
		資産処分差額	0	143,600	△ 143,600
		その他の特別支出	0	0	0
		特別支出計	0	143,600	△ 143,600
	特別収支差額		0	2,481,400	△ 2,481,400
	[予備費]		(0)		30,000,000
基本金組入前当年度収支差額		△ 213,923,000	△ 62,865,631	△ 151,057,369	
基本金組入額合計		△ 74,086,000	△ 85,287,705	11,201,705	
当年度収支差額		△ 288,009,000	△ 148,153,336	△ 139,855,664	
前年度繰越収支差額		△ 8,318,112,000	△ 6,888,315,375	△ 1,429,796,625	
基本金取崩額		0	0	0	
翌年度繰越収支差額		△ 8,606,121,000	△ 7,036,468,711	△ 1,569,652,289	
(参考)					
事業活動収入計		1,406,623,000	1,474,959,760	△ 68,336,760	
事業活動支出計		1,620,546,000	1,537,825,391	82,720,609	

(3) 貸借対照表

「貸借対照表」は、当学校法人の本年度末の資産、負債及び純資産の状況を明らかにしたものです。

資産の部の固定資産については、59億46百万円となり、前年度末より85百万円減少しました。減少の主な要素は建物、構築物について減価償却を行ったことによるものです。資産の部の流動資産については、8億13百万円となり、前年度末より47百万円減少しました。

負債の部の固定負債については、9億65百万円となり、前年度末より80百万円減少しました。これは第二校舎等の借入金について返済を行ったことによるものです。他方、リース契約の需要により長期未払金が増加しております。

負債の部の流動負債については、7億53百万円となり、前年度末より11百万円増加しました。これは前受金等が増加したことによるものです。

純資産の部については、今年度63百万円減少しました。第1号基本金は85百万円の組入を行いました。

貸 借 対 照 表

平成31年3月31日

(単位：円)

資産の部			
科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
固定資産	5,945,665,774	6,030,878,123	△ 85,212,349
有形固定資産	5,824,670,699	5,909,773,617	△ 85,102,918
土地	1,381,698,848	1,381,698,848	0
建物	3,647,410,819	3,737,894,179	△ 90,483,360
その他の有形固定資産	795,561,032	790,180,590	5,380,442
特定資産	78,708,432	78,800,073	△ 91,641
その他の固定資産	42,286,643	42,304,433	△ 17,790
流動資産	813,248,883	860,457,284	△ 47,208,401
現金預金	769,474,354	798,926,403	△ 29,452,049
その他の流動資産	43,774,529	61,530,881	△ 17,756,352
資産の部合計	6,758,914,657	6,891,335,407	△ 132,420,750

負債の部			
科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
固定負債	964,842,079	1,044,909,855	△ 80,067,776
長期借入金	422,780,000	501,850,000	△ 79,070,000
長期未払金	42,067,404	24,065,208	18,002,196
退職給与引当金	499,994,675	518,994,647	△ 18,999,972
流動負債	752,623,118	742,110,461	10,512,657
短期借入金	124,070,000	124,070,000	0
その他の流動負債	628,553,118	618,040,461	10,512,657
負債の部合計	1,717,465,197	1,787,020,316	△ 69,555,119

純資産の部			
科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
基本金	12,077,918,171	11,992,630,466	85,287,705
繰越収支差額	△ 7,036,468,711	△ 6,888,315,375	△ 148,153,336
純資産の部合計	5,041,449,460	5,104,315,091	△ 62,865,631
負債及び純資産の部合計	6,758,914,657	6,891,335,407	△ 132,420,750